



議場に響く優雅な音色

12月17日、市議会議場で議場コンサートが行われました。荒砥中吹奏楽部の21人が参加し、「ブライアンの休日」など5曲を披露。演奏が始まると、いつもの議場がコンサートホールに早変わり。堂々とした演奏に、観客は大きな拍手を送りました。

1周年を記念しミュージカル

中央公民館が前橋プラザ元気21に開館して1周年。これを記念して、12月14日同館で前女高音部の特別公演ミュージカル「我愛你」プレ公演を開催。7月の本公演に先駆け磨かれた見事な歌と踊りに、観客は見入っていました。



いろいろな遊びに挑戦

児童文化センターでは、学校週5日制が始まったときから、土曜日に冒険遊び場を開設。子どもたちは、ボランティアの大学生から竹馬や木登り、こまの回し方などを教わりながら、楽しく遊びました。



映画で地域の活性化を

12月13日・14日、前橋フィルム・コミッション設立1周年を記念して、作品上映会が行われました。13日には本市出身の映画監督・飯塚俊男さんなどを招き、シンポジウムを開催。撮影秘話などの興味深い話に参加者は聞き入っていました。



設計コンペティションで最優秀賞
外崎 晃洋さん・22歳
六供町

風と光が通り抜ける家をイメージ

経済産業省資源エネルギー庁が大學生を対象に募集した省エネ住宅の提案コンペ「ロ・ハウス設計コンペティション2008」で最優秀賞に選ばれた。

「初挑戦だったので佳作に入ればと思っていました。最終審査ではすごく緊張しましたが、研究成果を一杯伝えられるように努力しました。ゼミの先生や、説明用の模型作りを手伝ってくれた友人に感謝したい」
課題は、健康な暮らしと省エネで地球環境に配慮した住宅を設計すること。東京近郊で6層の道路に接する約70坪の宅地が舞台。家を設計するときは南側を空けるのが一般的だが、敷地の中心に建物を配置した。「光と風を上手く利用できるような4つの庭を東西南北に配置し、また

家の土間と庭が一体で使えるようにしました。東側の庭では道路を通る人と話ができて、西ではキッチンで作った物を食べる。南では日光浴、北では日陰で涼むと特性を出したのが良かったと思います」

小学生の時から大工の仕事にあこがれていた。高校は普通科だったが、将来は物作りの仕事をしたいと考え、建築学科に進んだ。趣味は自転車に乗ること。週に2回は、ロードレーサーで市内を走っている。青森県の出身で、前橋工科大建築学科の4年。4月には同大学院に進学する。
「将来は建築設計関係の仕事に就き、美術館などの公共施設を設計してみたいですね」
豊かな感性と柔軟な発想力で大きく飛躍してほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選 すばらしい地球

荒牧小5年
松宮 愛さん

どこからか
きれいな声か
聞こえてきたよ
こんなすばらしい地球に
いるんだなあ

★入選 静かなピアノのコンクール

上川小6年
林 真穂さん

私が台に立ったとき、
会場はとっても静か。
だれもいないような静かさ。
「ポーン」と、音をだし、きよくを
ひいている間も静か。
きよくをひきおわると、
一しゅん静かに、
そして大きなはくしゅ。
静かなぶんだけ、大きなはくしゅ。
とっても静かで大きなはくしゅの、
静かなピアノのコンクール

ぼくたちは
この地球にいる
ぼくたちは
この大地を
どしどしふんでいる
大地を
スキップしてみたら
たたらん たたらん
音がしたよ。
ぼくたちは
この海を
パシャパシャ
パシャパシャ
およいでる
とってもきもちが
いい気分になったよ
ぼくたちのほかに
この世界には
たくさん生き物が
生きている
ピヨピヨ
ピーピョー
ミンミン
〜ン